

事例：⑤国民参加の森林づくりと森林の多様な利用

備考

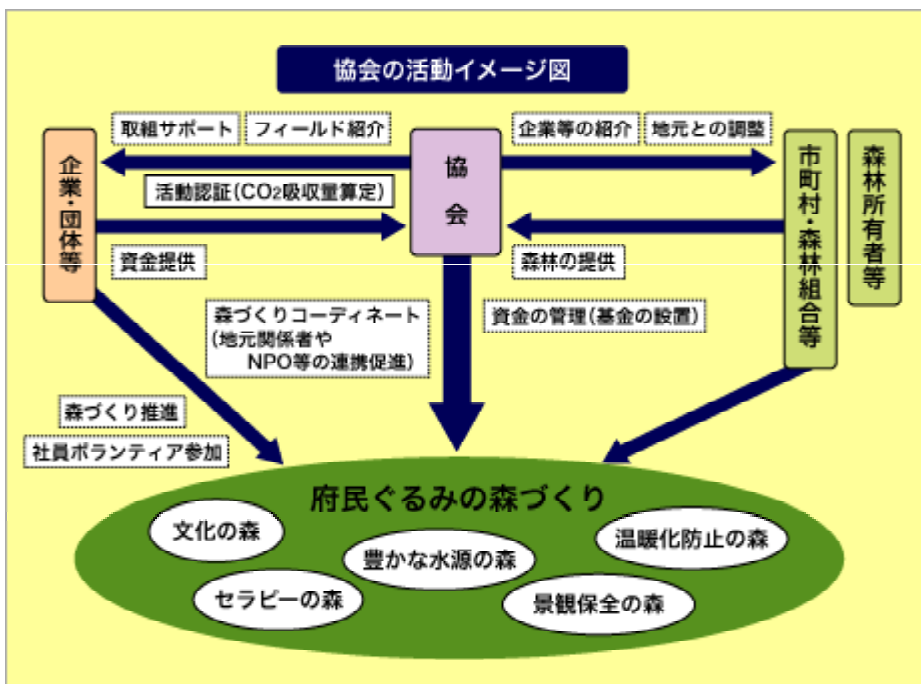
(京都府 社団法人京都モデルフォレスト協会)

事例：京都モデルフォレスト運動と(社)京都モデルフォレスト協会の役割

○ モデルフォレストとは、1992年の世界地球サミットの際にカナダが提唱した持続可能な地域づくりの実践活動のこと*。社団法人京都モデルフォレスト協会は、モデルフォレスト運動を推進する日本で初めての団体として、平成18年11月に発足した。このモデルフォレストの取組は、現在、世界19カ国40地区にまで広がっており、京都モデルフォレスト協会も、平成20年3月に国際モデルフォレストネットワークに加入し、京都の森林づくり活動を国際的にアピールしていくこととしている。

※ カナダでは、森林整備、木材の活用、森林生態系調査、野生獣の行動調査、溪流の水量・水質調査、生息魚類の調査など幅広い取組が、モデルフォレストの活動の一環として、住民、ボランティア、NPO、NGO、企業、行政の協働で実施されている。

- (社)京都モデルフォレスト協会は、
- ① 府民や企業等が森林所有者、森林組合等の地元関係者と一緒に森林づくりに取り組める仕組み
 - ② 府民や企業等から資金等の提供を受け、森林づくりに生かすことができる仕組み
- をつくり、これを広く呼びかけることで、力を合わせて京都の森を守り育てることを目的とする京都モデルフォレスト運動の「エンジン」となる役割を果たしている。



- < (社)京都モデルフォレスト協会の活動内容 >
- ・ 企業参加による森林づくりの推進：森林利用保全協定の締結、企業の森林づくり交流会の開催
 - ・ シンポジウムの開催、イベント等におけるモデルフォレスト運動の普及啓発、広報誌『以森伝心』の発行
 - ・ 森林ボランティアの養成、円卓会議の開催
 - ・ 「森の人材バンク」の管理、指導者の斡旋
 - ・ 森林整備体験教室、森の健康診断等の開催
 - ・ 国際モデルフォレストネットワークへの加入

事例：⑤国民参加の森林づくりと森林の多様な利用	備 考
<p>(大阪府、(株)高島屋、高島屋労働組合、大阪芸術大学、河内長野市)</p> <p>事例：多様な主体の仲人役「アドプトフォレスト制度」による森林の再生と活用</p> <p>○ 地球温暖化の防止や生物多様性の確保を図るため、府が事業者等と森林所有者との仲人役となって、活動場所となる森林の所有者、市町村、府、事業者等との間で協定を締結し、放置された人工林などを広葉樹林化する「アドプトフォレスト制度」を実施。</p> <p>○ 昨年10月に協定を締結した(株)高島屋や高島屋労働組合では、河内長野市内の森林において、栗植栽跡地の荒廢地にヤマザクラやケヤキを植栽し里山景観の向上を図るとともに、人工林の間伐により森林機能の回復を図るための活動を実施。</p> <p>○ また、(株)高島屋等と共に活動宣言書に調印した大阪芸術大学では、地域材の利用促進のため、間伐材による製品の企画・開発や普及啓発に取り組中。</p> <p>○ アドプトフォレスト制度は、現在、府内12地域において実施。</p>	<p>大阪芸術大学の学生による「おおさか河内材」製材所の見学</p>  <p>広葉樹を植栽するための地拵え</p>  <p>ヒノキ人工林の間伐</p> 

事例：⑤国民参加の森林づくりと森林の多様な利用

(福島県 21世紀あぶくま源流の里森づくり実行委員会)

事例：「21世紀あぶくま源流の里森づくり」による植樹活動

- 「21世紀あぶくま源流の里森づくり」は、白河西ロータリークラブが中心となって阿武隈川源流域にあたる独立行政法人那須甲子青少年自然の家の敷地内に植樹を行う活動であり、平成10年から開催されている。この体験を通じて、地球環境問題に対する意識を高めることを目的としている。
- 活動には、複数のロータリークラブ、近隣の小学校、ボーイ・ガールスカウトが参加し、森-川-海のつながりに関する研修会を開催すると同時に、森林組合の指導のもと、毎年1,500本程度を植栽してきた。また、年に数回下刈も実施している。
- 今後、植樹については、場所の確保の問題等から一時中断し、下刈といった保育を中心に行う方針である。

備考

【源流の里・なすかしの森 創造交流事業】
第2回植樹祭
 2000年4月29日・30日
 青少年教育研修会

（小学生対象の教育研修会）

（参加者）ロータリー関係 121名
 協力団体 315名
 計436名

【源流の里・なすかしの森 創造交流事業】
第3回植樹祭
 2001年4月28日・29日

（小学生対象の教育研修会）

（参加者）ロータリー関係 180名
 協力団体 325名
 計505名

【RI創立100周年記念事業(後期)】
阿武隈川源流域 植樹・交流大会
 第5回植樹祭 2005年4月24日

（研修会）

（植樹風景）

（RI創立100周年記念石碑）

第4回 研修会
 演題「源流の魚たち」
 講師 阿武隈川塾 塾長 堀江清志氏

(写真) 植樹祭等の実施風景

事例：⑤国民参加の森林づくりと森林の多様な利用	備 考
<p>(国有林野事業)</p> <p>事例：世界自然遺産「知床」における国有林の取組（北海道森林管理局知床森林センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界自然遺産に登録されている知床（陸域）の大部分は国有林野です。北海道森林管理局は、この区域の国有林野が原生的な森林生態系を有していることから、従前から、「知床森林生態系保護地域」に設定し、適正な保全・管理に努めてきた。 ○ <u>平成19年度からは、遺産地域周辺部を含めた地域において、「知床自然の森林づくり」を実施し、NPOや企業等から多くの参加者を得て、植生の回復を図るため、広葉樹林化をはじめとする多様な森林づくりを進めている。</u> ○ <u>また、知床の森林特性を活かした多様な森林体験活動のメニューを作成し、来訪者や森林づくりの参加者に配布している。</u> ○ <u>さらに国民参加による森林づくり活動や森林環境教育の拠点となる施設の整備や、世界遺産の入口に位置する斜里町ウトロ地区へ知床森林センターの移転整備等を進めている。</u> 	<p style="text-align: center;">備 考</p> <div style="text-align: center;">  <p>知床でのトレッキングで巨木観察</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>知床ボランティア等活動拠点施設</p> </div>

事例：⑥森林環境教育・森林とのふれあいの充実

備考

(福井県 あわら市、三国町、福井市、池田町、越前町、美浜町、小浜市)

事例：「森と里と海をつなぐ人づくり事業」

○ 福井県では、平成15年度から平成17年度に「豊かな海の森林づくり活動定着支援事業」を実施したことにより、海に面した6地域に森づくりの活動が広がる成果を得た。一方、本活動は、直接海からの恩恵を受けている漁業者が中心であり、さらに県内全域に活動を展開するためには、間接的に豊かな海や水の恩恵を受ける漁業者以外の県民への普及が課題であった。
このため、平成18年度から、川上へ拡大して海一里(川)一森を守る応援団を育成することを目的に、「森と里と海をつなぐ人づくり事業」を実施している。

○ 本事業では、海一里(川)一海を体感し、豊かな海の森づくりへの活動につなげるため、「森・里・海をつなぐ体験ツアー」を開催している。ツアーは、

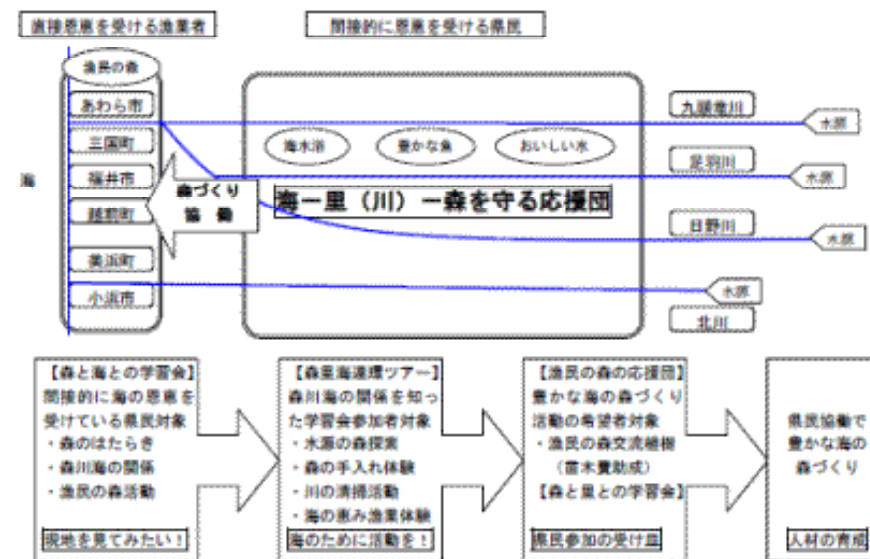
- ・ 森の学習会
- ・ 森の手入れ体験(作業実演、枝打ち体験等)
- ・ 木材を活用しよう(森のクラフト、木製プランターカバーづくり)
- ・ 森から里への贈り物・箸づくり体験
- ・ 里の水利用施設見学
- ・ 漁業体験、栽培漁業センターの見学

等の体験を組み合わせた川上から川下をたどるプログラムとしている。

○ 平成18年度は113名、平成19年度は133名が参加した。

森と里と海をつなぐ人づくり事業(イメージ図)

森と里と海をつなぐ人づくり事業



森の手入れ(作業実演)



箸づくり体験



栽培漁業センターの見学

事例：⑥森林環境教育・森林とのふれあいの充実

備 考

(島根県 NPOもりふれ倶楽部)

事例：多様な体験活動、森林環境教育による理解の深化

- 県民が森林内での様々な体験活動や森林環境教育を通じて人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深めるため、活動拠点であるふるさと森林公園において、山仕事体験の他、里山自然塾（きのこ採取、紅葉した葉を用いた絵本作り、クリスマスリース作りなど月1、2回開催）、里山ものづくり体験（竹食器作り、ドングリ工作など数ヶ月に1回開催）、自然観察会等を様々な行事を実施。
- また、学校林における山仕事体験やヒノキの皮の和紙づくりなどの体験活動、樹木観察・山の仕組みの話など、県内各地で森林環境教育を実施。

(写真の解説)

- 上：「うんなん元気っ子わくわく教室」でのクリスマス竹灯明づくり
- 中：里山自然塾サポーターズクラブスキルアップ研修での「ハゼの実からロウソクをつくる」研修
- 下：ヒノキの和紙づくり体験



事例：⑥森林環境教育・森林とのふれあいの充実	備 考
<p>(国有林野事業)</p> <p>事例：オオクワガタの棲める森林づくり（近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター）</p> <p>○ 「箕面体験学習の森」のある北摂地域は、かつてオオクワガタなどの昆虫類が数多く生息し、池田炭と呼ばれる茶道用の高級炭の原料となる、クヌギ、コナラ等の落葉広葉樹林が広がっていた。</p> <p>○ 当センターでは、当該地域の国有林を子どもたちを対象とした森林環境教育のフィールドとして一層充実させる観点等から、「箕面体験学習の森」の中心にある展望台周辺において、かつての森を再生し、オオクワガタも棲めるような生物多様性のある森林にすることを目指して、ヒノキ、スギ林からクヌギ、コナラなどの落葉広葉樹林への転換を図っている。</p> <p>○ この取組は、<u>住民参加型とし、苗木の育成→植栽→下刈り等をボランティアの協力により継続して行うこと</u>としている。</p> <p>○ また、箕面市内の小学生及び幼稚園児にも苗木の育成から植栽を体験してもらい、①「森林」は楽しい体験ができる場であること、②「森林」はたくさん学ぶことのできる場であること、③「森林」が日本人の生活に深くかかわっていること等に、気づききっかけとなることを目指している。</p>	<div data-bbox="1144 331 1765 794" data-label="Image"> </div> <p>みんなで拾ってきたドングリを埋め込む児童 (箕面市立豊川北小学校)</p>

事例：⑦保護林や緑の回廊における取組

備 考

(国有林野事業)

事例：保護林の設定及び保全管理の実施

- 「保護林」は大正4年に発足した先駆的な森林等の保護制度であり、貴重な動植物の保護や学術研究の場として重要な役割を担い、原則として伐採を行わないなど厳格な保全・管理を実施。
- 保護林については、モニタリング調査等を通じた適切な保全・管理を行っている。

小笠原諸島森林生態系保護地域における保全管理

小笠原諸島の陸域の過半(53%)を占める国有林について、平成18年、そのほとんど(約96%)を森林生態系保護地域という保護林に指定するとともに、地元自治体やNPO、学識経験者からなる保全管理委員会での検討・審議を経て保全管理計画を策定した。

【保全管理計画のポイント】

☆ 小笠原諸島固有の生態系を保護するために、アカギ、モクマオウ等の外来種の駆除対策を計画的に推進。



外来種の駆除→

- ☆ 利用による固有の生態系へのインパクトの軽減を図るため、関係機関と連携して利用と保護の調整を実施。
- ① 森林生態系保護地域への立入は、指定ルートに限定
- ② 希少な動植物の生息・生育環境の保全と利用に関する講習と入林許可を受けたガイド等の同行を条件

保護林の設定状況

(平成20年4月1日現在)

種 類	目 的	箇所数	面積 (千ha)
森林生態系 保護地域	原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資する。	28	494
森林生物遺伝 資源保存林	森林と一体となって自然生態系を構成する生物の遺伝資源を森林生態系内に保存し将来の利用可能性に資する。	12	35
林木遺伝資源 保存林	主要林業樹種及び稀少樹種等に係る林木遺伝資源を森林生態系内に保存し、将来の利用可能性に資する。	324	9
植物群落 保護林	我が国又は地域の自然を代表するものとして保護を必要とする植物群落及び歴史的、学術的価値を有する個体の維持を図り、併せて森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資する。	363	181
特定動物息地 保護林	特定の動物の繁殖地、生息地等の保護を図り、併せて学術研究等に資する。	36	21
特定地理等 保護林	我が国における特異な地形、地質等の保護を図り、併せて学術研究等に資する。	35	35
郷土の森	地域における象徴としての意義を有する等により、森林の現状の維持について地元市町村の強い要請のある森林を保護し、併せて地域の振興に資する。	35	4
合 計		833	778

事例：⑦保護林や緑の回廊における取組

(国有林野事業)

事例：緑の回廊の設定及びモニタリング調査等の実施

- 「緑の回廊」は、平成12年に発足した制度であり、野生動植物種の遺伝的な多様性を確保することを目的に、保護林相互を連結するネットワークを形成するものである。
- 「緑の回廊」については、モニタリング調査等を通じた適切な保全・管理を行っている。

●「緑の回廊」のモニタリング

国有林では、緑の回廊の適切な整備・管理を行うためのモニタリングを行っている。

例えば、東北森林管理局では、抜き伐りを行った人工林で下層植生や広葉樹の導入が見られ、また、ニホンカモシカやホンドテン等様々な動物の生息も確認されている。



ニホンカモシカ



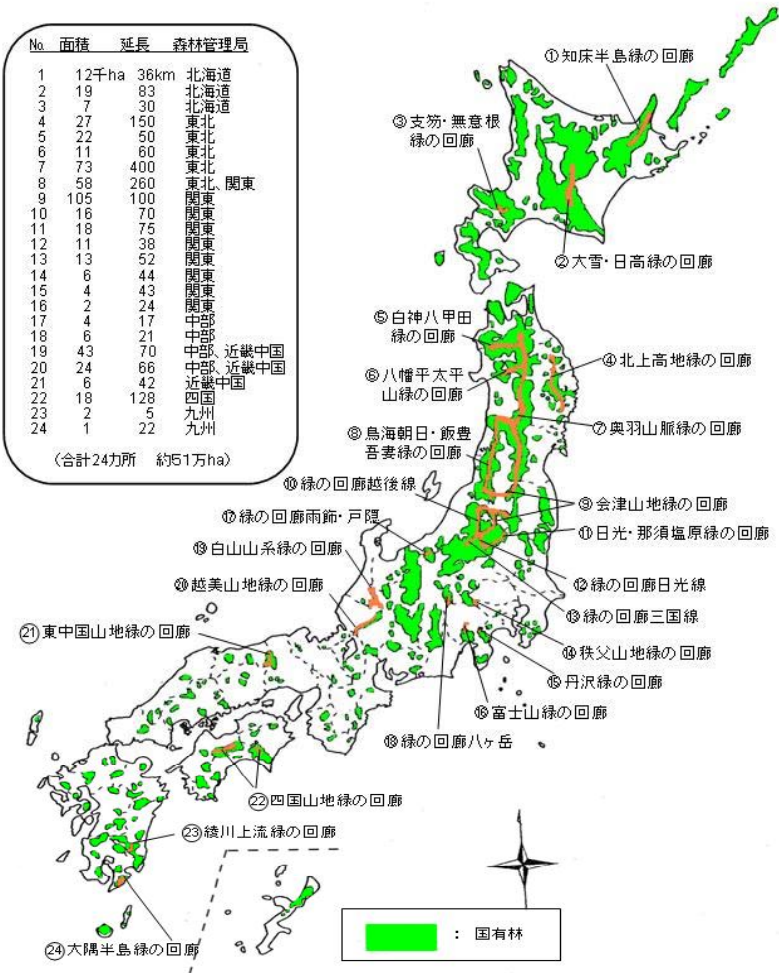
ホンドテン

緑の回廊の設定状況 (位置図)

(平成20年4月1日現在)

No.	面積	延長	森林管理局
1	12千ha	36km	北海道
2	19	83	北海道
3	7	30	北海道
4	27	150	東北
5	22	50	東北
6	11	60	東北
7	73	400	東北
8	58	260	東北・関東
9	105	100	関東
10	16	70	関東
11	18	75	関東
12	11	38	関東
13	13	52	関東
14	6	44	関東
15	4	43	関東
16	2	24	関東
17	4	17	中部
18	6	21	中部
19	43	70	中部 近畿中国
20	24	66	中部 近畿中国
21	6	42	近畿中国
22	18	128	四国
23	2	5	九州
24	1	22	九州

(合計24力所 約51万ha)



事例：⑦保護林や緑の回廊における取組

備考

(青森県、岩手県、秋田県)

事例：民有林「緑の回廊」の設定による「緑の回廊」連続性の確保

- 青森県、岩手県、秋田県の北東北3県は、平成10年10月に開催した第2回北東北知事サミットの合意事項（「緑のランドデザインの策定」及び「持続可能な森林経営に向けた調査・研究」）に基づき、平成13年度に民有林「緑の回廊」の設定方針と持続可能な森林経営確立のための「北東北版の基準・指標」を定めた「緑のランドデザイン基本構想」を策定した。
この基本構想に基づき、国有林の「緑の回廊」の連続性が途切れている部分等の補完や、持続可能な森林経営を目指すため、平成14年度から各県が設定推進協議会等を設置し、森林所有者等への合意形成を図り、平成15～17年度に民有林「緑の回廊」を設定した。
- 岩手県では、緑の回廊の設定区域にて開発行為が計画される場合は、事前に管理協議会に協議するように行為者を指導している。
青森県及び秋田県は、地域森林計画に民有林「緑の回廊」に関する事項を登載し、
 - ・ 営巣木・食餌木や巨木・古木等は保残につとめる（三八上北地域森林計画）
 - ・ 野生生物の移動通路として重要な尾根筋等について在来の広葉樹林や天然生林として保全する（雄物川地域森林計画）など、生物多様性の確保に基づいた森林施業を重視することとしている。
- 各県では、それぞれ緑の回廊維持管理協議会を設置し、設定した民有林「緑の回廊」の適切な維持管理や活用及び「北東北版の基準・指標」による森林経営の普及啓発を図っている。
また、平成14～19年度まで「北東北3県連絡会議」を開催し、「緑の回廊」の設定や適切な維持管理について連絡調整や情報交換を行い、平成19年度で会議を終了した。
今後、「緑の回廊」に必要な場合に行う復元・修復や、その後のモニタリングの実施については、各県ごとに対応することとしている。

緑の回廊位置図



○緑の回廊設定面積等

設定区域名	面積(ha)
国有林緑の回廊 (保護林を含む)	150,000
民有林緑の回廊 (青森県・岩手県・秋田県)	9,577

事例：⑧里山林の整備・保全・利用	備 考
<p>(埼玉県 嵐山町)</p> <p>事例：嵐山町里地里山づくり条例の制定と里山の環境保全</p> <p>○ 嵐山町では、昭和56年からボランティア団体と行政が連携して「オオムラサキの森づくり」に取り組むなど、国蝶オオムラサキをシンボルとして、その生息地である里山の保全活動が早くから行われていた。この長い歴史を下地として、町と町民が一体となった里地里山の保全等を進めている。</p> <p>○ 埼玉県では、優れた自然や歴史的環境を後世に残すため、県民・企業からの寄附金などを資金として、<u>緑のトラスト保全地</u>を地元市町村とともに取得している。嵐山町の町名発祥の地でもある<u>武蔵嵐山溪谷周辺樹林地</u>は、平成8年にさいたま緑のトラスト保全第3号地(面積13.5ha)に指定され、翌9年には保全のための公有地化が完了した。</p> <p>○ また、人の手により維持されてきた薪炭林等の里山の自然が失われつつあることから、<u>町内に残る里地里山環境の保全、整備及び活用に取り組むため</u>、平成18年度に「嵐山町里地里山づくり懇談会」を設置し、その提言を受けて、平成19年度に「嵐山町里地里山づくり条例」を制定した。</p> <p>○ 現在、本条例に基づく2つの協定制度を活用してボランティア団体が里地里山の保全等に取り組んでおり、今後、活動数が増加する見込みである。</p> <p>○ これらの活動では、<u>繁茂したアズマネザサの刈り取りや、コナラ、クヌギ等の広葉樹を15～20年で伐採して萌芽更新を促すこと、落ち葉かき等に取り組んでいる</u>。なお、伐採した広葉樹は、しいたけのほだ木、林内に積み上げて昆虫の住みかとして活用している。</p>	<p>◎ 嵐山町里地里山づくり条例：2通りの指定制度を規定</p> <p>1 里地里山づくり活動地域(イメージ図) 町民等が組織する里地里山づくり活動団体等の自主的な取り組みに対し、活動地域を指定し、土地所有者と町が3者協定を結んで地域の里地里山環境を保全していく仕組み。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>土地所有者</p> <p>○活動団体等への活動地域の提供 ○里地里山以外への転用の禁止</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>活動団体等</p> <p>○ボランティアによる土地の保全管理</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>3者協定</p> <p>嵐山町</p> <p>○荒廃の進む土地の保全管理への支援 ○公的に位置づけられた活動機会の提供</p> </div> <p>2 里地里山づくり保全地域(イメージ図) 町が優先的に保全すべきであると考える里地里山環境について、その地域を指定し、土地所有者と町が2者協定を結んで協働の姿勢で守り育てる仕組み。保全地域に指定された場所については、ボランティアによる自主的な活動を望む団体等へ開放、使用を許可することも可能。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>土地所有者</p> <p>○保全地域の提供 ○里地里山以外への転用の禁止</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>嵐山町</p> <p>○団体等へ呼びかけ保全の支援 ○標識の設置等</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>2者協定</p> <p>活動団体等</p> <p>○ボランティアによる土地の保全管理の実施 ○活動状況の報告</p> </div> <p style="text-align: right; color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">開放</p>

事例：⑧里山林の整備・保全・利用

備 考

(福岡県 福岡グリーンヘルパーの会)

事例：九州大学伊都キャンパス生物多様性保全ゾーンG区画の里山の保全・整備活動

- 福岡グリーンヘルパーの会は、NPO法人「緑のまちづくり交流協会」主催のグリーンヘルパー養成講座福岡で環境保全、緑化活動の知識を習得した仲間等で平成12年1月に結成。平成20年1月現在、会員数は約80名。本会の活動は今年で10年目を迎える。
- 九州大学の移転地である福岡市西区元岡地区では、移転用地275haのうち約100haが緑地として残されており、この東北部が「生物多様性保全ゾーン」として設定されている。本会は、九州大学の専門家に相談しながら活動計画をたて、人手が入らなくなった生物多様性保全ゾーンの里山の復元を目指している。
- 活動内容は多岐にわたり、
 - ① 竹林拡大の抑制：平成20年12月までに85回の活動で27,796本を伐採
 - ② 遺伝的攪乱を避けるための採種、育苗、育苗ハウスの維持管理：採種場所を九大移転地内とその周辺約2kmの範囲内に限定し、多様な樹木の種子を集めて苗を育てる取組み。これまでに堅果類を中心に採種し、24,400本の苗を仕立た。なお、元岡には3棟の育苗ハウスを整備し、ハウスの維持・保守管理も行っている。
 - ③ 植樹、育林：春の植樹祭等で育てた苗を植樹。これまでにアラカシ等18種、約4,000本を植栽した。また植栽後3年間は、適宜、下草刈りを継続的に実施。
 - ④ 子供たちへの自然体験学習、自然を活かした伝統技術の伝承：春の植樹祭、秋のどんぐり拾いを毎年実施し、子供たちや地域住民が参加した森づくりを実践している。また、会員が講師となって、自然観察会や竹細工講習会を開催し、森の大切さや楽しさを伝えている。



図：元岡保全活動の中長期計画（平成17年2月20日策定）



左上：第9回秋のどんぐりイベントでの植樹 (H19.11.23)
 左下：竹伐採作業の状況 (H19.11.30)
 右上：苗ポット除草 (H19.5.18元岡育苗ハウスでの活動)

○ 地域森林計画における生物多様性に配慮した記載例

計 画 区 名	記 載 内 容
留萌、上川北部、宗谷、石狩空知、上川南部、網走西部、網走東部、後志胆振、渡島檜山地域森林計画（北海道）	多様な森林の整備を図る観点から、広葉樹や郷土樹種を含め、幅広く樹種を検討するものとし、特に、河畔沿いについては、河川の水質浄化や落葉等による有機物の供給などが期待できることから、積極的に広葉樹を選定するものとします。
渡島檜山地域森林計画（北海道）	ブナやヒノキアスナロ（ヒバ）など温帯性の樹木が形成する特色ある森林景観やクマゲラなどの野生生物の生息・生育環境の保存に配慮するものとします。
三八上北地域森林計画（青森県）	伐区、時期については、野生生物の繁殖期や生息地の確保に配慮するものとします。また、営巣木・食餌木や巨木・古木等は保残につとめるものとします。 (※ 三八上北地域森林計画書における「民有林緑の回廊の森林施業」に関する記載。)
宮城北部、宮城南地域森林計画（宮城県）	野生動物の生息地の減少または分断を防ぐため、広域的な観点から森林の連続性に配慮した回廊状の森林の確保を図る。
渡良瀬川、那珂川、鬼怒川地域森林計画（栃木県）	森林体験活動の場や健康づくりの場としての森林と人とのふれあいを重視する森林において、森林へのアクセス等に必要な林道の整備を行う場合、利用者の利便性等の確保の観点に加え、作業道や歩道も含めた景観や生態系の保全に配慮した線形、構造、施設を選択するものとする。
伊那谷地域森林計画（長野県）	貴重な動植物の保護に留意して森林整備等を進めるとともに、広葉樹の誘導・育成、針広混交林の導入等を通じ、野生鳥獣の生息環境にも配慮した森林づくりを進める。
遠賀川、福岡、筑後・矢部川地域森林計画（福岡県）	景観や生態系の保全が特に求められている森林については、新たな林道の開設を回避する等森林の管理上必要最小限の整備とする。
白川・菊池川、緑川、球磨川、天草地域森林計画（熊本県）	作業路の開設に当たっては、地域の生態系への配慮及び自然環境の保全に留意するとともに、森林資源の有効利用に資する観点から、間伐材や支障木等の現地発生材の活用を促進するものとする。

○ 市町村森林整備計画における生物多様性に配慮した記載例

市町村名	記載内容
秋田市（秋田県）	野生生物の移動通路として重要な尾根筋や、生物多様性に重要な沢筋などの森林においては、在来の広葉樹林や天然生林として保全する。
北塩原村（福島県）	生物多様性の保全や森林とのふれあいを通じた森林と人間との共生を図る観点から、生活環境保全又は保健文化機能の維持増進を特に図るための森林施業や森林の適切な保全を推進する。
二宮町（栃木県）	本町、阿部岡三反田及び山ノ神地内の水路は、「文化財保護法」による国の天然記念物及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」による国内希少野生動植物に指定される「ミヤコタナゴ」の生息が確認されている。 今後も関係省庁並びに地域住民との連携を図りながら、貴重な動植物が生息する森林等の保全に努めることとする。
嵐山町（埼玉県）	本町の都幾川・槻川流域は、県立比企丘陵自然公園にも指定されており、町名の由来となった嵐山溪谷はじめオオムラサキの森・蝶の里公園等町民や来町者が自然と歴史に親しみながら、心身の健康を培うのに適した場所となっている。そこで、これら流域一帯を自然とのふれあいゾーンとして位置付け、整備を図るものとする。
坂井市（福井県）	竹田川の源流域には、自然のブナ林が残っている。このブナ林は水源かん養、景観上重要な役割を持っている。このようなどころについては、主として天然力活用により保全していくこととし、この場合1箇所当たりの伐採面積及び伐採箇所は育成単層林に準じるが、更新を確保するため伐区の形状、母樹の保存等について配慮するものとする。
東近江市（滋賀県）	河辺いきものの森および五十年森は下流域に残された数少ない河辺林で、河辺いきものの森では失われつつある愛知川河辺林に地域固有の自然・文化を守り育て、保全活動が体験できる森づくりを進めている。
羽合町（鳥取県）	松くい虫の被害も発生しており、樹種転換を進めるとともに、薬剤の空中散布、被害木の伐倒等の防除を進めていく。薬剤散布については、環境に配慮し、必要な範囲で実施していくこととする。
日野町（鳥取県）	鵜の池周辺の森林については県立公園としての整備が期待されていることから、森林とのふれあいの場としての活用をはかる。また、県鳥であるオシドリの渡来地として県内外からの来訪者も多くあるため、オシドリ保護を目的とした天然林の育成整備に努める。
宇和島市（愛媛県）	鳥獣害等については、猟友会と連携し、生態系への影響が生じないように配慮しながら駆除を行い、森林の保護に努めるものとする。
黒木町（福岡県）	笠原地域においては、ホテルの生息・生育の場となっていて、町民の憩いの場となっている。このようなことから、森林空間を様々な利用する多様な森林資源の整備を推進することとする。